

仙台市長 郡和子様

大型連休中の新型コロナウイルス感染症対応における医療体制の 確立を求める緊急要望

2020年4月17日

日本共産党仙台市議団 団長 嵯峨サダ子

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、市民の生命と暮らしを守るために不眠不休で取り組まれていることに心より敬意を表し、感謝申し上げます。

市内での感染拡大により、コロナウイルス感染が疑われる患者さんが開業医など身近な医療機関を受診するケースが繰り返されており、受診時の医療機関の防護体制や、発熱の患者さんについては診療を断られるなど、様々な課題が生じています。

また、**PCR** 検査を行う帰国者・接触者外来の医療機関では、通常診療に加えて、コロナウイルス感染症疑い患者の検体採取・消毒などの業務が加わり、負担が大きくなっています。「発熱外来」など既存とは別のルートをつくり、コロナウイルス感染症が疑われる患者や濃厚接触者など **PCR** 検査が必要となる方の診察・検査体制を確立させることが急ぎ求められています。

とりわけ、4月29日から5月6日までの大型連休を迎えるにあたり、休日当番医や急患センター、北部急患診療所、夜間休日こども急病診療所などに、コロナウイルスへの感染が疑われる患者さんの受診が集中することが予想されますが、その際の院内感染予防や他の患者さんが必要な医療を受けるための体制確保が危惧されるところです。よって、大型連休中の新型コロナウイルス感染症の対応に関わって、以下緊急に要望いたします。

- 一、市独自に「発熱外来」をつくり、ドライブスルー方式や屋外にテントを設置してのウォークイン方式等、コロナウイルス感染症が疑われる患者や濃厚接触者など **PCR** 検査が必要となる方の診察・検査体制を確立させること。
- 一、仙台市医師会との連携や自衛隊の災害派遣要請など、あらゆる医療資源を有効に活用して感染拡大防止に取り組むこと。
- 一、医療現場で防護服やサージカルマスク、消毒薬等の不足が生じることをないよう適宜供給すること。